IBM Japan Security Forum 2016
コグニティブ時代の新しいセキュリティー

開催日時 ▸ **2016年10月13日(木)** 13:00～17:45(受付／12:30～)
会　　場 ▸ **日本アイ・ビー・エム株式会社** 本社事業所(中央区日本橋箱崎町19-21)
参加定員 ▸ **150名**
参加対象 ▸ **経営層、CIO、CISO及び情報システム部門の管理職の方々**

主催：日本アイ・ビー・エム株式会社　　協力：株式会社ビジネス・フォーラム事務局

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

サイバー攻撃の脅威はいよいよ高まり、その攻撃手法はますます巧妙化、複雑化しています。クラウドやモバイル、IoTなどの新たなテクノロジーのビジネス適用に伴う新種のセキュリティー・リスクや、社内、関連企業、ビジネス・パートナーなど内部犯行の対応も重要な課題になっています。経済産業省が策定した「サイバーセキュリティー経営ガイドライン」では、そうしたさまざまな脅威への対策には、経営者やCISOなどの強いリーダーシップが重要であると指摘されています。

当フォーラムでは、お客様のセキュリティー環境に対応するため、今必要な具体的な対策はもとより、コグニティブ技術を活用した新しい時代のセキュリティー対策とその可能性をご紹介いたします。同時に、お客事例のご紹介、ビジネス・パートナーによるセキュリティー・ソリューションのハンズオン・セミナーなど、ご参加いただいた皆さまが多角的にセキュリティーの対応策について理解を深めていただける機会を設けております。

多くのお客様のご来場を、心よりお待ちしております。

平成28年9月吉日

敬具

プログラム詳細・ご登録はこちらから http://www.**b-forum.net/ibmsec2016**

お問い合わせ先・発送元：株式会社ビジネス・フォーラム事務局　〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F　TEL：03-3518-6531(受付時間 9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます)

ゼネラルセッション

GS 13:00 | 15:00

コグニティブ時代を見据えた新しいセキュリティー

基調講演 Welcome to the New Era of Cognitive Security

IBM Corporation IBM Software Group, Security Systems
CTO - Security Division **Sandy Bird** 同時通訳あり

ニューブランズウィック大学（カナダ）で電気工学について学んだ後、同校にてサポートや開発、運用など多くの業務に携わる。その後は特にWebアプリケーション向けのデータベースの設計・開発などを中心に多くの知識と経験を積んだ後、Q1 Labs社のCTO兼共同設立者となった。（Q1 Labs社は2011年IBMにより吸収・合併されている。）2014年にはIBMの最高技術職であるIBMフェローにも就任。現在はIBM SecurityのCTOとして、同社セキュリティー部門におけるテクノロジー戦略に責任を持つ。

リレートーク セキュリティーの新しい時代において、経営課題としての対策はどうあるべきか

お客様事例講演（※調整中）×

日本アイ・ビー・エム株式会社
執行役員
セキュリティー事業本部長 兼 CISO
志済 聡子

本年5月に発表の、セキュリティー言語の学習を行った新しいクラウド・ベースのIBMコグニティブ・テクノロジー「Watson for Cyber Security」について、最新情報を米IBM Fellow, IBM Security CTO Sandy Bird が解説します。「コグニティブ」、「クラウド」、「コラボレーション」の3つのイノベーションはセキュリティーをどう変えていくのか、最新セキュリティー・ソリューションを活用して新しい取り組みを推進しているお客様のお取り組み事例を交えながらご紹介します。

特別講演 サイバー・セキュリティー政策の課題と方向性

攻撃情報共有、人材育成、重要インフラ防護、個人情報保護、企業秘密保護などサイバー・セキュリティーに係る諸課題の状況を整理するとともに、それらの今後の変化と、新たな対策をカバーすべき政府の政策について、我が国のみならず海外からの視点も含めて解説いただきます。

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター
内閣参事官 **瓜生 和久** 氏

1993年3月京都大学工学部航空工学科卒業、1993年4月通商産業省（現経済産業省）入省、2008年6月経済産業省商務情報政策局情報通信機器課課長補佐、2009年6月東京工業大学像情報工学研究所特任准教授、2011年1月内閣官房社会保障改革担当室企画官、2013年7月内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室参事官、（併任：内閣官房社会保障改革担当室参事官）、2015年8月経済産業省商務情報政策局情報セキュリティー政策室長、2016年6月現職。

トラック A

A-1 15:15–15:45

攻撃者はDBを狙う ～内部犯行、不正侵入からの企業DBの情報漏えい監視、防御策とは？

不正な攻撃手段はさまざまですが、重要データ保管先として狙われるのがDBサーバである事実は変わりません。特に2015年における全攻撃の60%が内部犯行によるものとなっており、特権アカウント不正操作の監視・保護は必要不可欠になっています。
当セッションでは、IBM Security Guardium を使用した操作の監視と防御方法について、実際のお客様運用ケースを踏まえご紹介いたします。

日本アイ・ビー・エム株式会社
セキュリティー事業本部
セキュリティー・システムズ事業部
テクニカル・セールス **安楽 慎吾**

A-2 16:00–16:30

セキュリティー・アナリティクス最前線

IBM講師
（※調整中）

A-3 16:45–17:15

ハイブリッド・クラウド時代における次世代セキュリティー・ソリューション

クラウド環境利用の加速化により、すでに社会は「どのように移行するか」から「どのように効率的かつ安全に利用するか」というフェーズに入っています。
プライベート・クラウド＆パブリック・クラウドの混在はもとより、複数ベンダーのクラウドを効果的に利用する場合を考慮したセキュリティー面での検討ポイントについて、最新のIBM セキュリティー・ソリューションを含めてご紹介いたします。

日本アイ・ビー・エム株式会社
セキュリティー事業本部
セキュリティー・クロスソリューション
テクニカル・セールス
難波 健一

トラック B

B-1 15:15–15:45

金融不正を狙う脅威の最新動向

ここ数年で金融業界を狙ったセキュリティー脅威は複雑性を増しており、高度化しています。日本における脅威は、米国、欧州など世界のほかの国と類似してきており、日本の金融機関を狙うマルウェアも検知されています。
当セッションでは、サイバー犯罪の組織化による攻撃媒介の多様化や標的の拡張、攻撃手法の進化、モバイル特有の脅威や攻撃動向について、最新事例を交えてご紹介いたします。

日本アイ・ビー・エム株式会社
セキュリティー事業本部
セキュリティー・システムズ事業部
テクニカル・セールス
甲斐崎 由加子

B-2 16:00–16:30

BYODセキュリティー対策の決定版 ～IBM Maas360

お客様講師
（※調整中）

B-3 16:45–17:15

エンドポイント・セキュリティー対策に IBM BigFix が選ばれる理由

エンドポイントは、いかに防御を施したとしても新たなる攻撃に対して脆弱になり得るため、企業としては重大なリスクや貴重なデータを失うリスクとなる恐れがあります。マルウェアやフィッシングによる攻撃、ソーシャル・ネットワーキングを通じたプライバシーの侵害、スパムなど、常に進化した攻撃がエンドポイントを狙っており、組織内のあらゆるエンドポイントに、セキュリティーリスクが存在している可能性は否定できません。
当セッションでは、グローバルで数多くの実績をもつBigFix が次世代エンドポイント管理ソリューションとしてなぜ選択されるのかわかりやすく解説いたします。

日本アイ・ビー・エム株式会社
セキュリティー事業本部
セキュリティー・システムズ事業部
第二テクニカルセールス 部長 **赤松 猛**

トラック C

C-1 15:15–15:45

新しい日本発 セキュリティー・エコシステムの発表とパネル・ディスカッション

日本アイ・ビー・エム株式会社
執行役員
セキュリティー事業本部長 兼 CISO
志済 聡子 ほか

C-2 16:00–16:40

見えない敵に立ち向かう！ 国境、企業を越えたセキュリティー脅威インテリジェンス共有プラットフォーム『IBM X-Force Exchange』

サイバー・セキュリティーの脅威は、ますます巧妙化・高度化、組織化し、そして国境を越えて攻撃してきます。迅速に最新の脆弱性を確認し、セキュリティー・インテリジェンスを持って対応するには、一企業にとどまらないオープンなコミュニティーが必要です。IBMは、昨年「IBM X-Force Exchange」というセキュリティー脅威インテリジェンス共有プラットフォームを公開し、みなさまはX-Forceの情報にタイムリーにアクセスすることが可能です。IBMの提供するプラットフォームの優位性とデモを交えて、みなさまに講演当日からご活用いただくヒントをご紹介します。

日本アイ・ビー・エム株式会社
セキュリティー事業本部
シニア・セキュリティー ・スペシャリスト
X-Force メンバー **戴 開秋**

C-3 16:45–17:45

【モバイル・セキュリティー 体感セッション】体感してみよう！ IBM MaaS360ハンズオン

本セッションでは実際にIBM MaaS360に触れ、使いやすいと好評の管理画面の基本操作や、利用シーンに応じたデバイスの管理、社内データやメールの安全な利用や不正な使用からの保護、そしていざという時のワイプなど、ハンズオンだからできる操作を体感していただきます。
さあ、【モバイル・セキュリティー 体感セミナー】へGO！

株式会社ジェー・アイ・イー・シー

※より詳細なプログラムはwebサイトにてご確認ください。パンフレットへ掲載されていないコンテンツもございます。（▶ www.b-forum.net/ibmsec2016）